

幼保の連携と小学校への円滑な接続についての都教育委員会の取組

《 取組の背景 》 東京都教育ビジョン(平成16年4月)から

◆ 小学校では、「小1プロブレム」と呼ばれるような状況が生じており、幼児期からの心の教育や幼稚園・保育所と小学校教育との接続の重要性が改めて注目されている。

- 幼稚園・保育所は、例えば、教員・保育者の相互交流・合同研修を行うなど、幼児期からの心の教育を重視した取組をとって行く必要がある。
- 幼稚園・保育所と小学校の3者が、それぞれの指導や保育の内容を正しく理解し合い、連携を強化する中で、就学前から小学校への連続性を重視した教育を工夫し、実施していかなければならない。

＜幼稚園在園児・保育所入所児の数と割合＞（3・4・5歳児）

幼児数	幼稚園			保育所		合計
	国立	公立	私立	公立	私立	
172,467人 (60.3%)				113,772人 (39.7%)		286,239人
園数	2園	189園	848園	948園	967園	2,954園
幼児数	361人	14,055人	158,051人	113,772人		286,239人
割合	0.1%	4.9%	55.2%	39.7%		

※上表の割合の母数は、幼稚園在園児数+保育所入所児数

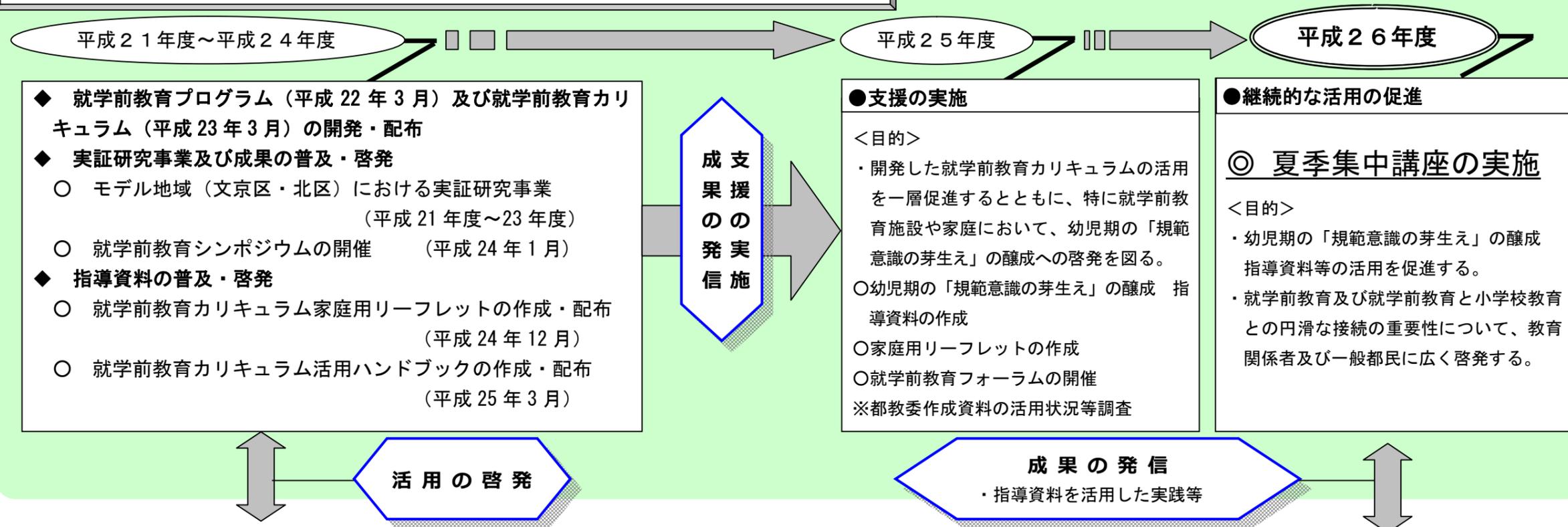
＜就園率＞（3・4・5歳児）

○ 幼児数 307,436人 ○ 幼稚園在園、保育所入所児数、286,239人
 幼・保就園率 93.1%
 （※4・5歳児の幼・保就園率 95.7%）

＜平成25年度公立幼稚園関係資料集（平成25年5月1日現在）
 教育庁 地域教育支援部＞

東京都教育ビジョン 平成16年4月	東京都教育ビジョン（第2次） 平成20年5月	東京都教育ビジョン（第3次） 平成25年4月
取組の方向3 小学校への円滑な移行を可能とする就学前教育を目指す ① 幼稚園・保育所・小学校の連携強化による小学校への円滑な移行	重点施策4 小学校との連続性を踏まえた就学前教育の充実 【推進計画】 9 就学前教育に関する総合的なカリキュラムやプログラムの開発 10 幼稚園・保育所と小学校との交流の促進	主要施策17 子供たち一人一人に応じた手厚い支援体制の構築 ○ 「就学前教育カリキュラム」及び「就学前教育プログラム」の活用の促進 → 幼稚園や保育所等における就学前教育の質の向上を図る。 → 小学校を拠点とする就学前教育と小学校教育との円滑な接続を図る。

東京都教育ビジョン第2次、第3次に基づいた取組（平成21年度～平成26年度）



幼稚園教育要領（平成20年3月告示）

第3章
 第1 指導計画の作成に当たっての留意事項
 2 特に留意する事項（5）

幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会を設けたりするなど、連携を図るようにすること。

保育所保育指針（平成20年3月告示）

第4章
 1 保育の計画
 （3）エ 小学校との連携

子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、保育の内容の工夫を図るとともに、就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童との交流、職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るよう配慮すること。

幼稚園・保育所等と小学校との交流の促進

- 幼稚園教育理解推進事業＜国費事業＞（平成21年度～）
 - ＜目的＞
 - ・幼稚園教育要領の理解啓発を図り、公私立保育所保育士と公私立幼稚園教諭が連携を強化することを意図した研究協議会を実施する。
 - ・「就学前教育プログラム」と「就学前教育カリキュラム」の活用の促進を図る。

保育参観と研究協議会の実施
- 教育課題等研究開発委員会（就学前教育開発委員会）（平成18年度～22年度） 就学前教育と小学校教育との円滑な接続（平成23年度～） 就学前教育カリキュラムの具体的な活用例の開発

保育参観と研究成果報告会の実施